

新薬を、笑顔を、ともに未来へ。



私たちは人びとの健康を高め 満ち足りた笑顔あふれる 社会づくりに貢献します。

新薬を、笑顔を、ともに未来へ。

どんなに医学が進んでも、治療法のない病気に苦しむ人びとが世界にはまだまだたくさんいます。患者さんやご家族にとって、そして最善の治療を模索する医療関係者にとって、革新的な新薬は明日への勇気につながります。だからこそ私たちは、探究し、国境を越えて持てる力を結集します。新薬を待つ人びとに、いち早く勇気と力を届けるために。生き生きと健やかな毎日が、この先もずっと続いていくように。全ての人に笑顔に満ちあふれる未来を。それが大鵬薬品の願いです。

世界中の人びとの健康と笑顔のため、多角的な視点からサステナブルな社会の実現に貢献しています。





数字から知る大鵬薬品



+



人びとの健康と笑顔に貢献するため、日々活動続ける大鵬薬品。その事業内容や会社の強みといった大鵬薬品ならではの特徴が分かる、代表的な数字を紹介します。

「
」

ロンサーフの承認国数



100カ国・地域 (2022年12月現在)

」

大鵬薬品が創薬した「ロンサーフ」は、2014年に大腸がん(結腸・直腸がん)の治療薬として誕生、世界100カ国・地域で承認されています。2019年には日米欧において胃がんの適応も追加、同適応症でも世界85カ国・地域で承認を受けています。

「
」

チオビタドリンクシリーズ販売数

年間約 **143,000,000**本

(2022年12月期)

」

「チオビタ・ドリンク」は、コンシューマーヘルスケア事業を代表する栄養ドリンクです。1964年から販売するロングセラー商品で、年間のシリーズ販売数は約1億4千3百万本。誕生以来、累計で約67億本を生活者の皆さまに届けています。

研究開発費率(対売上高)



41.4% (2022年12月期)

大鵬薬品では自社創薬に力を入れています。国内の研究機関にとどまらず、欧米やアジア諸国とのネットワークも生かし、世界の人びとに貢献できる革新的な新薬の研究開発に挑み続けています。

- ・ 2021年12月期の研究開発費率は29.4%。2022年12月期の数値が例年に比較して高いのは、IP(知的財産)取得により一時的に研究開発費が増加したものです。

育児休業取得率

女性 96% 男性 107%

(2022年12月期)

育児・介護休業法改正に伴い、男性は出生後早い段階での取得が増加。育児関連面談の実施、一部事業所内での保育園設置など、仕事と育児の両立を支援しています。

- ・ 2022年12月期に子の生まれた人数を分母とし、育児休業を開始した人数を分子とする
- ・ 算出方法により96%となるが、出産した全女性社員が育児休業を取得
- ・ 男性の場合、短期間の育児休業取得者も含む

経口抗がん剤のパイオニア



1974年から

まだ経口抗がん剤が一般的ではなかった1974年に、経口抗がん剤を発売。以降も自社で創製した経口抗がん剤を発売してきました。近年では、新たな基盤技術を用いた独創的な新薬の研究開発を行い、経口剤を中心に多くの新薬候補を生み出しています。

がん関連製品比率



売上の71.3% (2022年12月期)

売上高1,393億円のうち71.3%と大きな割合を占めているのが、がん関連製品です。がん分野を強みに、多様なメカニズムを持つ抗がん剤の創出に挑戦しながら、免疫・アレルギー、泌尿器領域においても新規性のある医薬品開発に取り組んでいます。

大鵬薬品の歩み

創業初期の1960年代より手掛ける抗がん剤などの医療用医薬品。「チオピタ・ドリンク」から始まった、薬局・薬店で購入できる商品を扱うコンシューマーヘルスケア。人びとの健康と笑顔に関わる二つの事業を軸として、大鵬薬品は歩みを進めてきました。

医療用医薬品事業(抗がん剤開発)の歩み

半世紀にわたる抗がん剤開発の歴史で獲得した多くのエビデンスと豊富な経験を力に変え、大鵬薬品は世界のがん患者さんに貢献する新薬を開発していきます。

抗がん剤開発の歴史は「フトラフル」との出会いから始まった

1969年、初代社長の小林幸雄は商談で旧ソ連を訪れた際、抗がん剤5-FUの誘導体[※]である新規化合物に出会い、直感的に大きな可能性を感じます。すぐさま日本での臨床試験実施を決意し、多くの試練を乗り越えて開発に成功。1974年、注射剤とともに、経口で投与が可能な抗がん剤「フトラフル」が誕生。がんの外来治療を可能とし、後に“術後補助化学療法”の概念も定着させました。

※誘導体:ある化合物の分子の一部が変化してできた化合物

1969年(昭和44年)
「フトラフル」の開発者と握手を交わす小林幸雄



1960

1974年(昭和49年)
「フトラフルカプセル」と「フトラフル注」発売



1980

抗がん剤の進化を求め飽くなき挑戦を続ける

「フトラフル」の効率化を探求し、さらなる研究を進め、配合剤として1984年に「ユーエフティ」、1999年には「ティーエスワン」を国内で発売しました。

1999年(平成11年)
「ティーエスワン配合カプセル」発売



2000

2014年(平成26年)
「ロンサーフ配合錠」発売

日本発の新薬で

世界100カ国に貢献

21世紀に入り、がん治療に貢献できる新薬のグローバル自社開発を進める中、大鵬薬品が創薬した経口抗がん剤「ロンサーフ」を2014年に国内で発売。翌年には当社初の米国販売製品として承認を取得、2016年に欧州委員会の承認も得て、各国へと広がっています。



2023



2022年(令和4年)
「ジェセリ錠」発売

アンメット・メディカル・ニーズへの挑戦

大鵬薬品は難病・希少疾患の創薬にも積極的に取り組んでいます。2022年にはGIST(消化管間質腫瘍)治療薬「ジェセリ錠」を発売し、アンメット・メディカル・ニーズの高い領域にも力を入れています。

患者さんの生活の質を高め
がん治療の未来を開く

がん患者さんの生活の質を高める目的で、水なしでも服用できる、抗がん剤として世界初の口腔内崩壊錠「ティーエスワン配合OD錠」を2013年に発売。近年では制吐剤などのサポートケアを含む、がんのトータルケアを目指した製品も発売しています。

コンシューマーヘルスケア事業の歩み

チオビタシリーズ、ソルマックシリーズやハルンケアなどの商品を通して、生活者に寄り添い、健康で充実した毎日を支えています。



2001年(平成13年)

頻尿・軽い尿もれのための生薬製剤
「ハルンケア内服液」を発売

高齢化社会のニーズに合わせ、服用しやすい液剤でトイレのお悩みを改善する生薬製剤として開発。日本で初めて「軽い尿もれ」への効能を取得した一般用医薬品です。

1979年(昭和54年)

胃腸内服液「ソルマック」全国発売

生薬を配合した液体胃腸薬として登場。ふたを開けてそのまま飲むことができる手軽さも相まって、40年以上にわたりご愛用いただいています。

1964年(昭和39年)

「チオビタ・ドリンク」発売

日常生活の中から健康を応援するドリンク剤として誕生。生活者の疲労回復を助ける、タウリンやビタミンB群などの成分を配合しています。シリーズ化されラインアップが増えた現在は年間約1億4千3百万本を販売、誕生以来累計で67億本以上を生活者の皆さまにお届けしています。



1960



1980

2000



「Efil」は金属イオンが持つ抗菌・抗ウイルス・消臭効果を利用したウイルス除去・抗菌スプレーです。

2017年(平成29年)「ピタスのどトローチ」発売

働く人の声から生まれたフィルム状トローチのピタスシリーズ。薬剤を含んだ円形フィルムが上あごにびたっと貼り付き、のどの痛みやはれ、咳や口臭といった悩みを緩和します。薄くて持ち運びに便利、話しながら使っても周りに気づかれにくいという特徴は、大事な会議や接客といったビジネスシーンでの使いやすさを考えています。2022年にはシンガポールでの販売も開始しました。



2021年(令和3年)「バップフォーレディ」発売

40歳以上の日本の男女、約800万人が悩んでいるとされる過活動膀胱症状。日常生活の質に影響を及ぼすこの問題に対し、薬剤師の指導のもと薬局で購入できる、日本で初めて「尿意切迫感」の効能を有する女性向けOTC医薬品です。

シンガポールに加え、新たなASEAN諸国への展開も視野に入れ、生活者に寄り添った新しくユニークな商品を研究開発。人びとの笑顔が続いていくことを目指しています。

2023



2018年(平成30年)

「大鵬薬品健康通販」を開始

自社商品の通販事業をスタート。女性の身体をケアする乳酸菌 Rosell-11&52 配合のサプリメント「フェミラクト」をはじめ、予防・未病を考えたヘルスケア商品を展開しています。

2018年(平成30年)

ウイルス除去・抗菌スプレー
「Efil エフィル」発売



各商品の注意点については各ブランドサイトをご覧ください

創薬力

独自の創薬プラットフォームを主軸に、革新的な新薬を生み出す力が大鵬薬品の強みです。大塚グループの中で主に「がん領域」を担い、脳転移やRAS変異がんなど、難治性がん治療薬の創製に挑戦しています。また、がん研究で培った技術を応用し、「免疫・アレルギー領域」の創薬研究も推進しています。自社技術の補完と研究開発の加速を目指して国内外の研究機関とも協働、さらにバイオベンチャー企業やアカデミア(大学・研究機関)と独自のネットワークを構築し、画期的な技術や創薬シーズの獲得に取り組んでいます。

開発における自社創薬率

(2022年12月現在)

約 **82%**

開発中の化合物 17品目

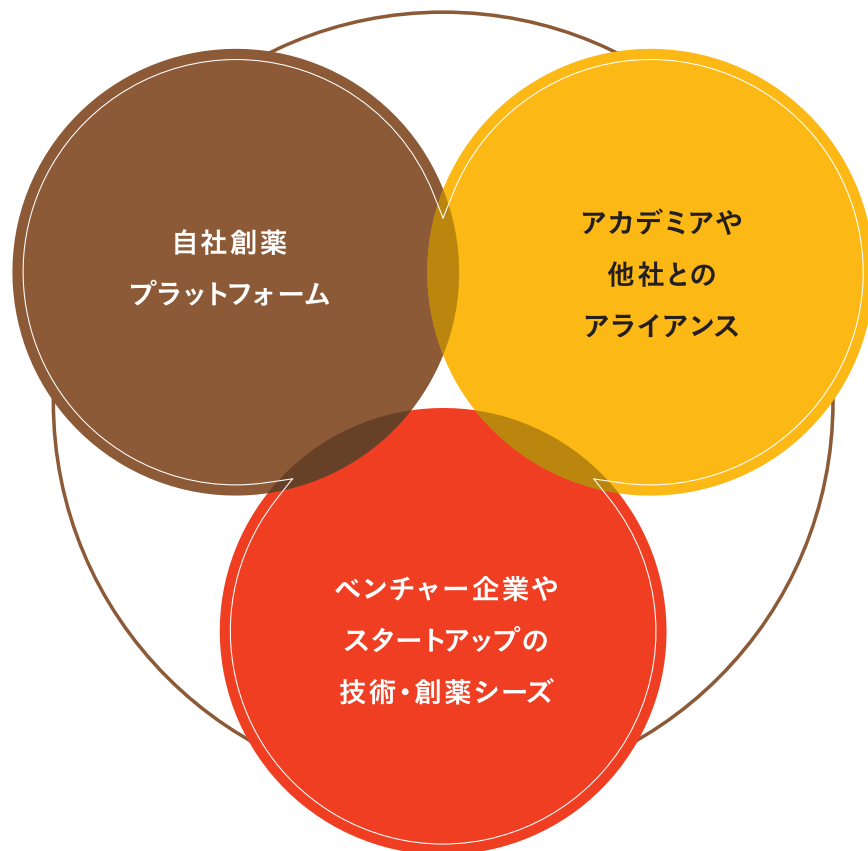
自社創薬品 14品目(約82%)

「がん領域」 11品目

開発品の
進行状況について
詳しく知る



革新的な新薬創出のために



緊密な連携とワールドクラスの創薬基盤で新薬候補を生み出す

高い自社創薬率を支えているのは、専門分野に関する豊富な知識・経験を持つ研究員と各部署の緊密な連携です。創薬基盤技術の整備・拡充にも力を入れ、国際的に評価される独自の「システイノミクス創薬基盤」で創製されたフチバチニブが2022年に米国で承認取得するなど、基盤技術を柱に数多くの開発パイプライン創製に成功しています。

新薬を待つ患者さんのためアライアンスで迅速な研究開発を

有効な治療法がない患者さんに新薬を届けるために、社外パートナーとのアライアンスによる研究開発力向上を戦略的に展開しています。国内の研究開発ネットワークを筆頭に欧米・アジアの関係会社や製薬会社、アカデミアと連携を図ることで自社技術や開発パイプラインを補完し、研究開発をスピードアップしています。

ベンチャー支援・連携を通じ未来の新薬へ可能性を広げる

TAIHO VENTURES, LLC (2016年設立)と大鵬イノベーションズ合同会社 (2019年設立)の二つのコーポレートベンチャーキャピタルを通じ、革新的な新薬の研究開発に取り組む国内外のバイオベンチャー企業やスタートアップへの投資・支援を実施しています。それらのネットワークを通じて独創的な技術や創薬シーズにアクセスし、新たな視点や発想を獲得、未来の新薬へ可能性を広げるイノベーションの創出を目指しています。

担当者メッセージ



研究本部
本部長

水洗 慎司

高いハードルを越え、治療に貢献できる創薬に挑戦し続けたい

研究所で創製した分子標的薬が臨床試験を経て承認され、治療を待っているがん患者さんに届けることが実現し始めています。この自信と喜びを糧に、難治性がんなど創薬が難しくハードルが高い医療ニーズに今後も挑戦し続けます。そのために自社の研究能力をさらに高め、社内外のパートナー、アカデミア、製薬企業、バイオベンチャーと積極的に連携して自社創薬を推進しています。

創薬について
詳しく知る



人財力

医薬品を扱うことは、生命に向き合うことでもあります。大鵬薬品では「薬づくりは人を育てることから」を基本方針に、医薬品に対する知識や業務遂行のスキルに加え、高い倫理観や多角的な視野を持ち、新しいことに果敢に挑戦する「人財」の育成を目指しています。新入社員教育をはじめとする各種研修で、生命関連企業人としての心構えや専門知識の習得、コミュニケーションスキルの向上、DX人財育成プログラムなど、さまざまな教育カリキュラムを実施しています。

大鵬薬品の人財力を支える制度

Master MR(社内認定MR)数 (2023年1月現在)

167人

Expert学術
10人

通信教育受講料援助制度 (受講料の7割を補助)

年間約 500人が利用

生命と向き合い、医療の現場で信頼されるMRを育てるために

社内認定
制度

最新の治療情報を医療関係者に提供・収集できる人財を育てるため、がんに関する知識と患者さん目線での提案力を兼ね備えた「Master MR」、疾病と治療を幅広く理解した「Expert 学術」、二つの分野で毎年社内認定を実施しています。

TAIHO
Mentorship
Program

経験豊富な先輩MRのスキルや高いマインドを通じて若手MRの成長を促す「メンターシッププログラム」では、配属先の支店を越えて先輩MRの業務に同行します。実践的なスキルや工夫に触れることで若手のモチベーション向上につなげています。

グローバルリーダーを育成する 多様なプログラム

グローバル展開を積極的に進めている現在、国をまたがる横断的な課題に対して海外のパートナーと連携しながら柔軟に解決できるグローバルリーダーの育成に力を入れています。各世代のグローバルでの活躍に強い意欲を持つメンバーに「国や本部をまたがる業務経験」や「グローバルリーダーに必要なスキル・マインドを磨く各種研修」の機会を提供することで計画的に育成を支援します。

視座を
高める
業務経験

- ジョブローテーション
- 海外グループ会社への派遣
- 国内でのグローバル業務経験 など

グローバル
リーダー
研修

- 異文化コミュニケーション研修
- 越境型社外研修※
※全く異なる環境に身を置き、新たな視点などを得る研修
- 役員との1on1対話 など

成長意欲をバックアップする、多彩なキャリア開発支援制度

社員の成長意欲を支えるには、自発的に将来像を考える機会が必要です。自己探索を目的とした「キャリアデザインシート」の活用や自由参加型の「キャリアデザインセミナー」、「キャリアワークショップ」開催のほか、5～10年先のキャリアについて上司とオープンに語り合う「キャリア対話」を推進するとともに、社内のキャリアコンサルタント有資格者によるキャリア相談の場も設けています。また、成長をバックアップする通信教育や資格取得に向けた支援体制も整備しています。

担当者メッセージ

「社内キャリアカウンセラー」
として、社員のキャリア探索や
自己理解をサポート



人事部
清水 晶子

社員一人一人が環境の変化に応じて「将来ありたい姿(キャリアビジョン)」を探索し、何歳になっても成長することを楽めるように、キャリアカウンセラーとして「キャリア講習」や個々の社員へのキャリア相談を実施しています。上司や同僚と将来のビジョンを語り合える風通しのよい風土づくりを常に心掛け、組織貢献力だけでなく、自己達成感も得ることができるキャリアを歩めるように支援しています。

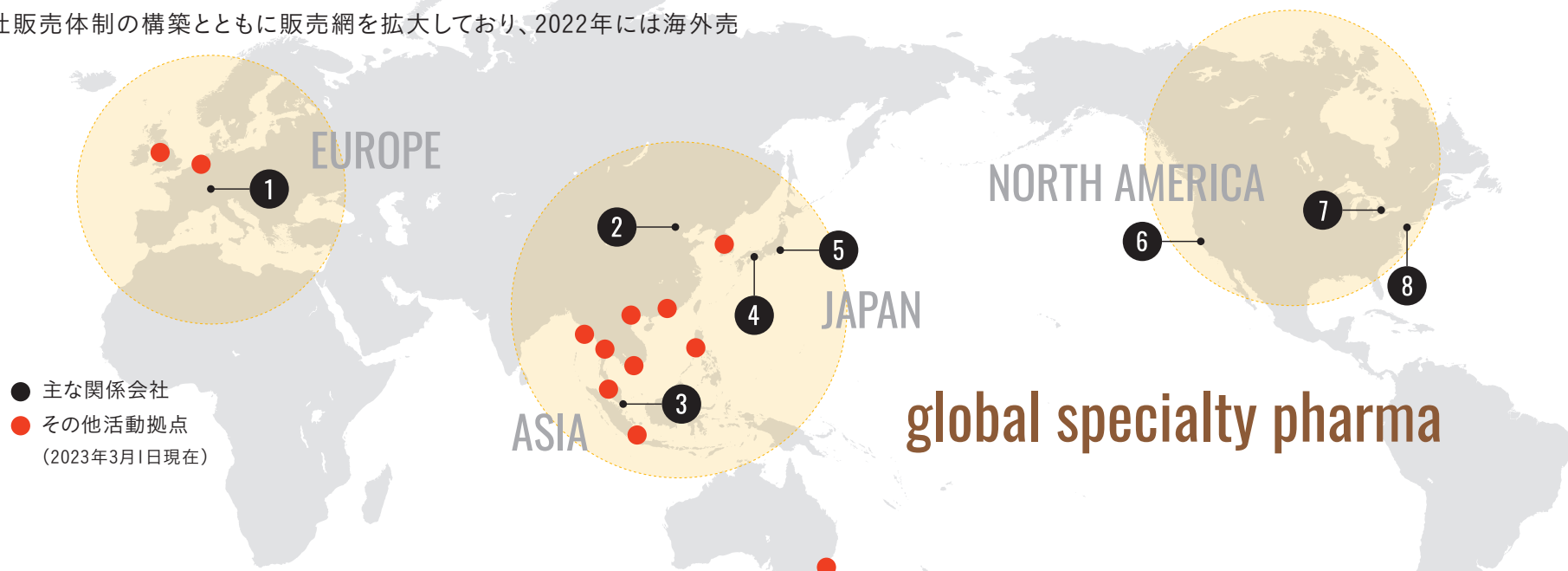
人財育成について
詳しく知る

GLOBALIZATION

大鵬薬品の未来 グローバリゼーション

世界から信頼されるスペシャリティファーマになることを目指し、大鵬薬品はグローバル化を進めています。米国・欧州・アジアの関係会社と協働しながら、創薬分野における研究開発を推進。世界15カ国に拠点を置くなど、自社販売体制の構築とともに販売網を拡大しており、2022年には海外売

上比率が約38%まで伸びています。近年では開発パイプラインの拡充やイノベーションの創造を狙い、二つのコーポレートベンチャーキャピタルを設立。世界の医療に対し、さらなる貢献を目指しています。



1 欧州における医薬品の臨床開発・販売
 TAIHO ONCOLOGY EUROPE GMBH

2 中国の医薬品臨床開発・製品育成・販促活動
 大鵬药品信息咨询(北京)有限公司

3 アジア太平洋地域における販売・薬事・MA活動
 TAIHO PHARMA ASIA PACIFIC PTE. LTD.

4 外用剤、AG^{*}、コンシューマーヘルスケア商品の製造・販売
 岡山大鵬薬品株式会社

5 国内スタートアップのインキュベーションおよび投資
 大鵬イノベーションズ合同会社

6 革新的ながん治療薬創製を支援するベンチャー投資
 TAIHO VENTURES, LLC

7 カナダにおける医薬品の販売
 TAIHO PHARMA CANADA, INC.

8 医薬品のグローバル臨床開発と米国における販売
 TAIHO ONCOLOGY, INC.

※オーソライズドジェネリック: 先発メーカーに特許などの使用を許可されたジェネリック医薬品

関係会社について詳しく知る

Message from EUROPE

欧州の患者さんにも
大鵬薬品の新薬を適切に届けたい

TAIHO ONCOLOGY EUROPE GMBH
Chairman

東 敦



大鵬グループの欧州における販売会社として2021年1月に設立した弊社では、新規経口抗がん剤FGFR阻害剤「フチバチニブ(開発コード:TAS-I20)」の上市を目指し、グループ各社と連携を取りながら販売体制の構築を進めています。将来的には抗がん剤のラインアップと販売組織をさらに充実させ、薬剤の適正使用推進を行っていくことで、欧州地域の患者さんの健康と笑顔に貢献したいと考えています。

Message from ASIA

一人でも多くのアジアの人びとに、
画期的な新薬を届けたい

TAIHO PHARMA ASIA PACIFIC PTE. LTD.
Managing Director

西村 吉雅



『大鵬北京』と『大鵬ファーマアジアパシフィック』は、“By Local. For Local.”という共通のスローガンを掲げています。大鵬薬品が創製した画期的な新薬やユニークなコンシューマーヘルスケア商品を、アジア各国・地域の現地スタッフの手によって、同エリアの医療関係者や患者さん、そして生活者の皆さまに提供することを第一の使命としています。この地に暮らす一人でも多くの人びとに笑顔届けられるよう、現地スタッフ全員が一丸となって、日々全力を尽くしています。

Message from NORTH AMERICA

患者さん一人一人の生活の改善に
努めながら、会社を変革していく

TAIHO ONCOLOGY, INC.
President & CEO

Timothy Whitten



大鵬オンコロジーは、2023年に変革の年を迎え、いくつかの大きな飛躍を遂げようとしています。がん患者さん、そのご家族や介護者の方々の生活を改善することを目指して、私たちは既存製品の新たな適応症や販売地域の拡大、開発中の化合物への投資および開発を推進します。大鵬グループ一丸となり、世界中の人びとの健康を改善し、より多くの笑顔を生み出すことに注力します。



SUSTAINABILITY

大鵬薬品の未来 サステナビリティ

「私たちは人びとの健康を高め 満ち足りた笑顔あふれる 社会づくりに貢献します。」という企業理念は、大鵬薬品が未来を見つめる上での変わらぬ指針です。事業活動が社会や環境に寄与し、課題解決につながること

を目指したCSRミッションを掲げ、サステナブルな社会を目指すSDGsの実現や、最適なガバナンスを土台とした社員のヘルスケアやダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の推進に取り組んでいます。

CSR ミッション

大鵬薬品は、大塚グループの一員としてCSRを事業と一体化したものと認識しています。目指すのは企業理念のもと、自らの持続的な成長と、健康でサステナブルな社会を実現すること。そのために必要となる最適な社内の体制を築き、社会と地球の健康に貢献する各活動目標の達成に向けて、全社一丸となって取り組みます。

 社会の健康 健康 人財 品質	 地球の健康 カーボンニュートラル サーキュラーエコノミー ウォーターニュートラル
 ガバナンス コーポレート・ガバナンス コンプライアンス リスクマネジメント	

私たちが取り組む重要項目(マテリアリティ)

持続可能な世界を目指すSDGs(持続可能な開発目標)の達成に取り組んでいます。医療を通じた健康と福祉に対する指標はもちろん、人権や環境への配慮といった社会課題の解決により、社会貢献と事業成長を実現します。

 3 中核的疾患は、予防と早期発見	<ul style="list-style-type: none"> ● 多面的に創薬力の強化を図り、アンメット・メディカル・ニーズに応える ● 情報・治療へのアクセス向上を図り、がん患者さんを取り巻く医療ニーズに応える
 5 ジェンダー平等を推進しよう	<ul style="list-style-type: none"> ● 大塚グループの一員として、WEPs(女性のエンパワーメント原則)に署名
 6 安全な水とトイレを世界中に	<ul style="list-style-type: none"> ● 水資源の有効活用目標の設定 KPI 工場の水管理プログラムを国内全拠点へ展開
 8 働きがいも経済成長も	<ul style="list-style-type: none"> ● がん等の病気に罹患しても、治療しながら働き続けられる制度や環境の整備、教育の充実
 12 つくも責任、つかう責任	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物に関する目標の設定 KPI 単純焼却・埋立 2028年までに、2019年比で 50%削減
 10 人や国の不平等をなくそう	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権・労働・環境・腐敗防止等を考慮した大塚グループ横断の「調達方針」を策定
 13 気候変動に具体的な対策を	<ul style="list-style-type: none"> ● 温室効果ガスの削減目標を設定 KPI 温室効果ガス排出量 2028年までに、2017年比で 50%削減
 17 パートナーシップで目標を達成しよう	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本発の創薬とグローバルなオープンイノベーションとの融合への取り組み
 16 平和と公正をすべての人に	<ul style="list-style-type: none"> ● コンプライアンスプログラムおよび関連する法令・諸規定の遵守

サステナビリティについて詳しく知る 



ヘルスケア支援

人びとの健康に多角的な貢献を



がんの課題解決を応援する
「大鵬スマイルサポート」

「大鵬スマイルサポート」では、薬だけでは解決できない、がんに関わるさまざまな社会課題解決に取り組む団体・個人のクラウドファンディングを支援。目標金額の達成時にはマッチングギフトをお贈りします。



米国で患者さんや介護者へのサポートを拡大

米国子会社の大鵬オンコロジーは、がん領域の患者団体とのコラボレーションや支援を行っています。特に患者さんとその介護者のサポートに力を入れており、各種啓発プログラム、教育や研究に関する活動、イベントを実施しています。



ラオスで新生児特定集中治療室 (NICU) の設立を支援

アジア子会社の大鵬ファーマアジアパシフィックは、地域の健康や医療分野のアンメットニーズを解決すべく、ラオスのカムアンにNICU設立のための支援を行いました。NICUの名称は「Taiho NICU」で、2021年5月に稼働を開始しています。



サステナビリティ
への取り組み

社会・地域
貢献活動



健康への
取り組み



社員支援

誰もが安心して働ける職場に

働きながらの治療を応援

がんや慢性疾患のある社員に対し、有給休暇の積み立てや休業期間延長、リモートワーク、復職できるカムバックパス制度といった、仕事と治療を両立できる働き方を整備しています。



健康増進への取り組み

「2023年喫煙率ゼロ」を目標に、禁煙外来の費用補助や受動喫煙に配慮した社内ルールの徹底を図っています。また、運動習慣定着のため全社員に運動アプリを提供しています。



事業所で保育園を運営

つくばエリアの緑豊かな敷地内に保育園を開設しています。看護師が常駐し、延長保育時は夕食も提供。月極の保育だけに限定せず、社員の子も・孫であれば一時預かりにも対応しています。これからも、子育て中の社員が安心して働ける環境を提供し続けていきます。

人財育成、仕事と出産育児の両立、健康支援の取り組みなどを通じ、社員が生き生きと働くことができるダイバーシティ&インクルージョンに取り組んでいます。



2023
健康経営優良法人
ホワイト500

D&Iについて



グローバル基準の品質保証

主力工場である徳島工場を筆頭に、北島、埼玉、犬山の計4工場が連携しながら生産を行っています。いずれの工場もGMP[※]基準を順守する万全な品質管理を実施。中でも徳島、北島、埼玉は欧米当局の査察を経た国際水準を満たしています。生命に関わる医薬品を安定供給する責務として災害などに備えた対策も行い、抗がん剤の供給については事業継続マネジメントの国際規格「ISO22301」を取得しています。

※GMP: Good Manufacturing Practice
(医薬品および医薬部外品の製造および品質管理に関する基準)



担当者メッセージ

高品質の医薬品で、
患者さんとそのご家族に
安心と笑顔を届けたい



品質保証部
部長

段 由規彦

私はわが子の命を病気で失いかけた経験から、医療技術と医薬品が未来を切り開く力の素晴らしさを、肌で感じています。グローバルに通用する医薬品品質システムの構築とその運用管理という品質保証業務を通じて、「大鵬薬品の製品で幸せになる人を、一人でも多く生み出したい」との想いで、患者さんが安心して服用できる高品質な薬を提供し続けます。

写真:北島工場管理棟

大鵬薬品の主な製品

医療用医薬品



抗悪性腫瘍剤 ロンサーフ®



代謝拮抗剤 ティーエスワン®



抗悪性腫瘍剤 ジェセリ®



抗悪性腫瘍剤 アブラキサン®



5-HT₃受容体拮抗型制吐剤 アロキシ®



選択的NK₁受容体拮抗型制吐剤 アロカリス®



ヒト型抗ヒトIL-23p19モノクローナル抗体製剤 トレムフィア®



アレルギー性疾患治療剤 ビラノア®

コンシューマーヘルスケア商品



栄養ドリンク チオビタ® シリーズ



胃腸内服液 ソルマック® シリーズ



生薬製剤 / 軽い尿もれ・頻尿用薬 ハルンケア®



生薬製剤 / 尿路消毒剤 ハルンケア®



ハルンケア®
ベアベリー錠



過活動膀胱治療薬 バップフォーレディ®



口腔咽喉薬 ピタスシリーズ



ウイルス除去・抗菌スプレー Efil エフィル



乳酸菌サプリメント フェミラクト



いつもを、いつまでも。

あたり前のようにつづく毎日ほど、

かけがえのないものはない。

私たちは、“いつも”を支える力になりたい。

大切な“いつも”が失われた時、

強く取り戻す力を届けたい。

いつもを、いつまでも。

私たち大鵬薬品ひとりひとりの願いです。

大鵬薬品で働く

一人一人の想いを込めて

あたり前のように享受していた「いつも」の風景や「いつも」の生活。病にかかったり、社会や情勢が不安になったりする時こそ、人は「いつも」のささやかなありがたみに気づくのではないのでしょうか。

大鵬薬品が創薬を通じて叶えたいのは、病気を治すことだけではなく、病気に悩む患者さんの、そして健康な生活者の、かけがえのない「いつも」が続くよう力となり、支え続けることも私たちの大切な仕事です。

生命関連事業を営むものとして、生活者のことをどれだけ思えるか。患者さんとその家族を取り巻く環境をどれだけ理解できるか。患者さんのQOLをどれだけ高められるか。治療から未病予防までを見つめ、これからも全ての人の健康と笑顔に貢献していきます。

「いつもを、いつまでも。」

大鵬薬品で働く一人一人の願いであり、目指すもの。それがこのコミュニケーション・スローガンです。



「大鵬薬品
ストーリー」
を見る



コミュニケーション・スローガン「いつもを、いつまでも。」をテーマに、ブランディングムービーを放映しています。坂内拓さんのイラストレーションと二階堂和美さんの歌声による穏やかで優しい世界観を通じて「あたり前のように続く、かけがえのない毎日を支えたい」という大鵬薬品の願いを表現しています。



ブランディング
ムービーを見る



いつもを、いつまでも。



トップメッセージ

“すべきこと”を追い求め、 製薬の力で笑顔あふれる社会を

大鵬薬品は今年、設立60周年を迎えますが、いつの時代も社員一人一人が“大鵬薬品としてすべきこと”は何かを考えて行動してきました。自宅で服用できる経口の抗がん剤がほとんど使われていなかった時代に、患者さんのQOLを考えて新たな経口抗がん剤を開発、信念を持って、その至適投与方法を探求し続けた日本の会社、これが大鵬薬品です。こうした歴史の一部を振り返っても、“すべきこと”の課題を粘り強く解決しながら仲間にはバトンをつないでいく文化が大鵬薬品の成長を支えてきました。これからも“すべきこと”をやり抜く力を持つ人財を育て続けることにより、さらなる成長を目指します。

「満ち足りた笑顔あふれる 社会づくりに貢献します。」は、企業理念の中で私が特に大切にしているフレーズです。さまざまな悩みを抱えている患者さんや生活者の皆さまの「笑顔」に貢献し、「いつも」の生活が「いつまでも」続くように、全世界の社員とともに、安心して使っていただける品質の高い優れた製品を世界中にお届けします。この活動を通して、人びとの健康に寄与する価値ある企業として存在感を高め、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。

代表取締役社長

小林 将之



会社概要

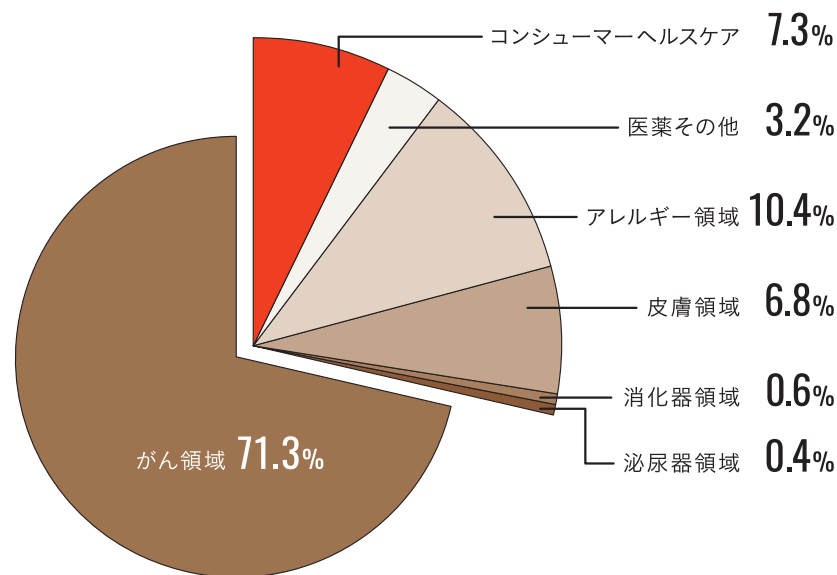
会社名	大鵬薬品工業株式会社 TAIHO PHARMACEUTICAL CO., LTD.
設立	1963年(昭和38年)6月1日
資本金	2億円
代表者	代表取締役社長 小林 将之
従業員数	2,170人(2022年12月31日現在)
売上高	1,393億円(2022年12月期)
純利益	51億円(2022年12月期)
事業所	本社/東京 支店/医薬8支店 コンシューマーヘルスケア4支店 出張所、事務所/全国53カ所 工場/全国4カ所 研究所/つくば(茨城県)、徳島
本社住所	東京都千代田区神田錦町1-27 TEL 03(3294)4527



役員

代表取締役社長	小林 将之	常勤監査役	橋本 信之
常務取締役	東 敦	常勤監査役	岡田 泰典
常務取締役	仁木 達也	監査役	中島 達弥
取締役	相良 武	(2023年3月31日現在)	
取締役	高橋 典行		

領域別 売上比率 (2022年度)



<https://www.taiho.co.jp/>

— 大塚グループ企業理念

Otsuka-people creating new products for better health worldwide

世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する

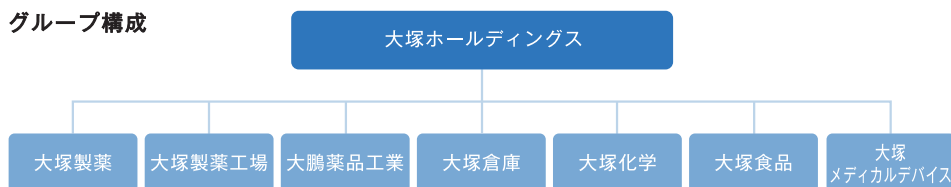
— 概要

大塚グループは、1921年に創業し、世界の人々の健康への貢献を目的に、疾病の診断から治療までを担う「医療関連事業」と日々の健康の維持・増進をサポートする「ニュートラシューティカルズ*1 関連事業」の2本柱で事業を展開しています。歴代の経営者が育んできた「流汗悟道」「実証」「創造性」という大塚の伝統を受け継ぎ、現在では世界32カ国・地域、196社で47,000人*2の社員が、大塚らしいユニークな製品・サービスを提供し続けるため活動を行っています。

*1. ニュートラシューティカルズ：Nutraceuticals = nutrition (栄養) + pharmaceuticals (医薬品)

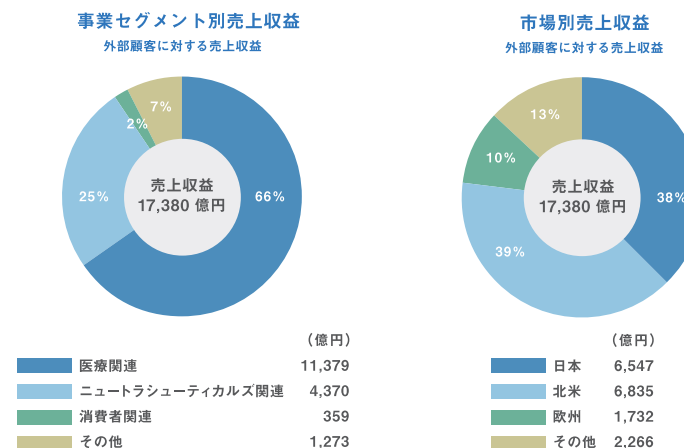
*2. 2022年12月末現在。大塚ホールディングスおよびその子会社、関連会社

— グループ構成



会社名	大塚ホールディングス株式会社 (Otsuka Holdings Co., Ltd.)
設立	2008年7月8日
代表取締役社長 兼 CEO	樋口 達夫 (ひぐち たつお)
資本金	816億90百万円
本社	東京都千代田区神田司町2-9
事業内容	グループの経営戦略、管理ならびに事業専門サービスの提供

— 財務内容 (2022年度)



— サステナビリティミッション

大塚グループは、企業理念のもと、事業を通じた社会課題の解決に取り組み、自らの持続的な成長と健康でサステナブルな社会の実現を目指します。そのため、最適なガバナンス体制を土台として社会と地球の健康に貢献する各活動目標の達成に取り組みます。

サステナブルな社会の実現に貢献

大塚の事業活動 = 社会課題の解決
Otsuka-people creating new products for better health worldwide



社会【社会の健康】
健康 人材 品質



環境【地球の健康】
カーボンニュートラル サーキュラーエコノミー
ウォーターニュートラル



ガバナンス
コーポレートガバナンス コンプライアンス リスクマネジメント







いつもを、
いつまでも。

 大鵬薬品



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を及んでいます